

NEWS RELEASE



2022.12.2

公益財団法人コーセーコスメトロジー研究財団 第 33 回 表彰・贈呈式を開催

株式会社コーセー(本社:東京都中央区、代表取締役社長:小林 一俊)が社会貢献の取り組みのひとつとして支援している公益財団法人コーセーコスメトロジー研究財団(所在地:東京都中央区、理事長:小林一俊)は、2022年11月30日に「第33回 表彰・贈呈式」をパレスホテル東京(東京都千代田区)にて開催しました。





コーセーコスメトロジー奨励賞 表彰者

コスメトロジー研究助成 受賞者

北海道大学 木原章雄 氏

左:公益財団法人コーセーコスメトロジー研究財団

理事長 小林一俊

右:株式会社コーセー

執行役員 研究所長 小椋敦子

コーセーコスメトロジー研究財団は、多様かつ広範な学際領域に跨るコスメトロジー(化粧品学)に関する研究へ助成を行うことにより、広く生活者の保健衛生の向上を図り、美しく豊かな人間生活の実現に寄与することを目的として、1990年に株式会社コーセーの創業者である小林孝三郎により設立されました。以来毎年、化粧品に関連する幅広い学術分野の優れた研究に対して助成を行っています。

第 33 回となる今年度は「コーセーコスメトロジー奨励賞」として、2018 年以降の助成採択者の中から北海 道大学大学院 薬学研究院 木原章雄 氏を表彰しました。また、「コスメトロジー研究助成」として、全国の主 要大学、病院、公的研究機関からの 110 件の応募に対し、選考委員の厳正な審査により選ばれた 30 名の 研究者に対して助成金贈呈を行いました。

■小林 一俊 理事長挨拶 要旨



小林 一俊 理事長 本日、当財団は、33 回目の表彰・贈呈式を迎えることになりました。当財団は、生涯現役として"化粧品ひとすじ"に歩んできた小林孝三郎が、化粧品業界への感謝の思いから、平成2年に設立したもので、これまでに幅広い分野の研究者への支援を通して、コスメトロジーの発展につとめてまいりました。今年までの累計助成件数は913件、総額は12億7,500万円に上ります。本日は、「コーセーコスメトロジー奨励賞」の受賞者1名を表彰し、「コスメトロジー研究助成」30名の研究者に贈呈書を授与させていただきます。皆さんには、本日の受賞をきっかけに、コスメトロジー分野の研究で実りある成果をだされることを願ってやみません。これからも当財団は、コスメトロジーへの研究助成を通して、人々の美しく豊かな生活の実現と化粧品産業の発展のため、着実に歩みを進めてまいります。

■二木 鋭雄 選考委員会委員長 選考経過報告 要旨

今年はコスメトロジー研究助成に110件の応募をいただきました。例年どおり「素材・物性」、「生体作用・安全性」、「精神・文化」の三分野で助成課題を募集し、各分野の専門委員による研究課題の総合評価に加え、(1)独創性、(2)発展性、(3)実用の可能性、(4)コスメトロジーへの波及性の観点から予備選考を行い、選考委員会での慎重な審議の結果、30件の研究課題を採択しました。今年は、皮膚で生理活性機能を持つ成分の開発や、皮膚の老化メカニズムの解明、人の「顔」を研究対象にしたものなど、コスメトロジーならではのユニークな着想による、コスメトロジーの広がりが感じられる、これからの展開が大変楽しみな研究課題が多く採択されました。本日の受賞される研究が、当初の目標を達成され、将来、人々の健康と生活の向上に役立つことを祈ります。



二木 鋭雄 選考委員会委員長

参考情報

◇コーセーコスメトロジー奨励賞

2020年の本財団創立30周年にあたり創設された表彰制度で、本財団の研究助成採択者の中から、コスメトロジー研究の発展に功績があった研究者を表彰することにより、更なる研究の進展を期待するとともに、これをインセンティブとして、コスメトロジー研究の学術論文による成果公表を奨励し、研究成果の社会還元の促進を目的とするものです。

3回目となる本年度は、2018年以降の助成採択者の中から今年最も優れた論文実績が認められた研究者を表彰しました。

◇コスメトロジー研究助成

本助成事業では、様々な専門分野の研究者にコスメトロジー研究への参画を呼びかけ、人々の健康や美容の増進に役立ち、美しく豊かな生活の実現への貢献が期待される研究課題に対して助成を行います。

◇学術集会支援助成

コスメトロジーおよび関連研究の学会や研究討論会などの開催費用への助成を行います。

■ 2022年度 コーセーコスメトロジー研究財団 表彰・助成実績

○コーセーコスメトロジー奨励賞

表彰候補者(2018年以降の研究助成採択者) 28 名

受賞者 1 名

表彰内容 表彰状および副賞 200万円

○ コスメトロジー研究助成

応募総数 110 件

助成件数

1)素材、物性に関する分野 10件

2) 生体作用、安全性に関する分野 15 件

3)精神、文化に関する分野 5件 計30件

助成金総額 5,500万円 (1件あたりの助成金額 200万円、100万円、50万円)

○ 国際交流支援助成 2 件

○ 学術集会支援助成 5 件

◇2022 年度 コーセーコスメトロジー奨励賞 受賞者(敬称略)

所属機関・氏名	研究課題
北海道大学大学院 薬学研究院	アシル CoA 合成酵素 ACSVL4 による皮膚バリア形成機構
木原 章雄	(2018年 第 29 回コスメトロジー研究助成受賞)

◇2022 年度 コスメトロジー研究助成 受賞者(敬称略、分野別五十音順)

第1分野:素材、物性に関する分野		
所属機関・氏名	研究課題	
早稲田大学理工学術院	進化分子工学によるデザイナー炭化水素生合成経路の開発	
先進理工学部		
梅野 太輔		
京都大学 iPS 細胞研究所	皮膚バリア機能を促進する新規生理活性ペプチドの開発	
小田 裕香子		
岐阜大学 工学部	化粧品微粒子原料表面改質のための気流層型プラズマリアクター	
小林 信介	の開発	
慶應義塾大学理工学部	糖脂質型バイオサーファクタントの精密化学合成と構造機能相関に	
高橋 大介	よる新規高機能性化粧品素材の創製	
東北大学大学院理学研究科	テラヘルツ分光による水和水の環境の分子レベルでの解明	
高橋 まさえ		
富山県立大学工学部	ガス透過性金型による1cm3当たり100万本以上の高溶解型無痛ナノ	
竹井 敏	マイクロニードルの開発	
慶應義塾大学薬学部	肌温度感受性を有する細胞増殖因子送達ナノ粒子の開発	
長瀬 健一		
山陽小野田市立山口	微小血管系の多機能イメージングによる皮膚特性・機能の評価	
東京理科大学工学部		
中道 友		
広島大学大学院	界面活性剤吸着膜の相転移を応用したピッカリングエマルションの	
先進理工系科学研究科	自発解乳化	
松原 弘樹		
中部大学先端研究センター	ペプチドの革新的合成	
山本 尚		
第2分野: 生体作用、安全性に関す	- る分野	
所属機関•氏名	研究課題	
京都大学 iPS 細胞研究所	iPS 細胞由来顔面部真皮幹細胞誘導法の開発	
池谷 真		
大阪大学微生物病研究所	小型魚類を活用した皮膚老化機構の解明と抗老化因子の探索	
石谷 太		

千葉大学大学院薬学研究院 伊藤 晃成	HLA 多型の関わる接触性皮膚炎リスク評価系の基盤構築
和歌山県立医科大学薬学部 岩尾 康範	優れた安全性・安定性を有する経皮吸収型イオン液体の創製とコス メトロジー素材への応用
神戸大学バイオシグナル 総合研究センター 上山 健彦	メラニン合成関連酵素のパルミトイル化による可逆性の皮膚色制御
公益財団法人かずさ DNA 研究所 遠藤 裕介	かゆみを引き起こす pathogenic code の同定と治療基盤の開発
京都大学大学院生命科学研究科 神戸 大朋	チロシナーゼ酵素群の活性化に不可欠な金属獲得の分子機序の 解明
熊本大学国際先端医学研究機構 佐田 亜衣子	皮膚幹細胞の糖鎖をターゲットとした老化制御に向けての基盤研究
香川大学医学部 大日 輝記	表皮のペプチドによるバリア制御機構
京都大学医生物学研究所 豊島 文子	妊娠期における皮膚リモデリング機構の解析
東京理科大学理工学部 中村 由和	表皮細胞老化において細胞膜リン脂質の果たす役割の解明
宮崎大学医学部 西山 功一	加齢による微小血管網異常と皮膚老化の関係性を解く
徳島大学ポスト LED フォトニクス研究所 長谷 栄治	全光学的手法を用いた老化皮膚における力学特性変化の解析
公益財団法人 東京都医学総合研究所 平林 哲也	表皮バリア脂質の代謝異常が炎症を惹起する機序の解明
同志社大学生命医科学部 和久 剛	転写因子 Nrf3 を標的としたシミ予防研究への HIV-1 プロテアーゼ 阻害剤リポジショニング
第3分野:精神、文化に関する分野	
所属機関・氏名	研究課題
福岡医療短期大学歯科衛生学科泉喜和子	表情シワを用いた新たな顔貌定量法(顔貌解析アルゴリズム)の開発
神戸大学大学院 科学技術イノベーション研究科 和泉 慎太郎	化粧品の機能性を最大化する塗布動作の定量評価と提示方法の 研究

早稲田大学スポーツ科学学術院	顔面の皮膚血流に及ぼす加齢と運動習慣の影響
林 直亨	
同志社大学社会学部社会学科	コスメティック産業集積地発展における社会構造、多様なアクターの
藤本 昌代	協働、支援制度に関する分析
奈良女子大学研究院	顔形態の社会的シグナルとしての役割
生活環境科学系	
横山 ちひろ	

◇公益財団法人コーセーコスメトロジー研究財団 Web サイト

URL: https://www.kose-cosmetology.or.jp

表彰された研究課題の概要等も掲載しています。

次回、第34回コスメトロジー研究助成の募集は、2023年4月より、本ウェブサイトで告知予定です。 財団へのお問い合わせも、上記ウェブサイトよりお願いいたします。